

特集!

あんぱん!

# やなせたかし

4月から始まるNHK朝の連続テレビ小説『あんぱん』。主人公のモデルは、“ハチキコ(土佐弁で“男勝りな女性”)おのぶ”こと小松暢(こまつのぶ)さん。アンパンマンの生みの親であるやなせたかしの妻になる女性です。今月号はそんなやなせさんの著書をご紹介します。

## 『やさしいライオン』

やなせ たかし / 作・絵 フレーベル館

【E1 所蔵館:南部】



みなしごライオンのブルブルを育てるのは犬のムクムク。ブルブルは立派なライオンになり、やがてやってくる別れのととき…。やなせさんの絵本作家活動の原点となる、悲しくも優しい絵本です。

## 『あんぱんまん』

やなせ たかし / 作・絵 フレーベル社

【E1 A 所蔵館:波田】



アンパンマンが初めて絵本に登場したのは1973年。この絵本からアンパンマンは始まりました。馴染み深いテレビ版の姿とは少し違った印象を感じるかもしれません。あとがきからわかるやなせさんがアンパンマンに込めた思いは必見です。

## 『ボクと、正義と、アンパンマン』

やなせ たかし / 著 PHP エディターズ・グループ

【914.6ヤ 所蔵館:中央】



「本当のスーパーマンはほんのさやさやかな親切を惜しまない人」(本文より) アンパンマンが生まれた背景。戦争の経験。やなせさんが考える本当の正義とは…?やなせさんの人柄を感じられるエッセイです。

## 『あれはだれの歌』

やなせ たかし / 著 瑞雲舎

【911.5ヤ 所蔵館:中央、南部、空港】



4コマ漫画から始まり、優しく温かいイラストや心に染みる詩が詰まったやなせさんの作品集。名作『チリンの鈴』や、『手のひらを太陽に』の詩など、アンパンマンではないやなせさんの世界を味わえます。

## 『何のために生まれてきたの?』

やなせ たかし / 著 PHP 研究所

【726ヤ 所蔵館:中央、南部、梓川】

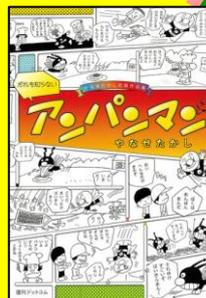


「なんのために生まれてなにをして生きるのかこたえられないなんてそんなのはいやだ」 アンパンマンマーチに込められた意味、その真意とは…?

## 『だれも知らないアンパンマン』

やなせ たかし / 著・絵 フレーベル館

【C726ヤ 所蔵館:中央】



サンリオ出版の「月刊いちごえほん」で連載していた、漫画版アンパンマン!超が付く初期作品。パパと呼ばれるジャムおじさんにお茶目過ぎるバタコさん。“このキャラクターはこんな感じだったの!?”と驚くこと間違いなし!

# 新刊情報



『15歳の昆虫図鑑』五十嵐 美怜／著 講談社【JFイカ 所蔵館：南部、寿台、本郷、島内、梓川、波田】

5人の中学生が、それぞれの自己実現とともにだんだん友達になっていく小説です。各章のモチーフに昆虫を据えて、主観人物を変えながら物語が展開します。5人の悩みやコンプレックスは様々で、等身大の15歳をありありと描いています。ヤングアダルトの方だけでなく、若い感情を忘れてしまった大人にも読んでほしい本です。

『ライバルはいるか?』金間 大介／著 ダイヤモンド社【361カ 所蔵館：中央、梓川】

勝負はお好きですか？私は…負けるの大嫌い！負けるの大嫌い…なので、勝負をしないことで「負けたくない」を保つ毎日です。でも、この本を覗いたら少しだけ、負けてもまあ…いいかも？なんて思えるようになりました。良きライバルとの良き勝負が残すものは損得でも名誉でも恥でもなく、唯一無二の人生の糧だけなのかもしれません。



参加無料！

## ～ウィキペディアタウン in 学都松本～

ウィキペディアタウンとは、まち歩きで見つけた地域の魅力を、本などの情報をもとにインターネット上の百科事典「ウィキペディア」の記事にするワークショップです！

日時：2月8日（土） 会場：松本市立博物館 講堂

時間：9時30分（9時より受付）～17時終了予定（昼食12～13時を挟みます。）

講師：<sup>もろた</sup>諸田 <sup>かずゆき</sup>和幸さん

（UDC長野ブロックコーディネーター・フォトグラファー）

※定員20名、昼食は持参となります。

お申し込みは上記QRコード、または中央図書館まで！



申込フォーム

## 東京 2025 デフリンピック

デフリンピックを知っていますか？デフ(Deaf)とは“耳が聞こえない”という意味であり、デフリンピックはデフアスリートを対象にした4年に一度の国際総合スポーツ競技大会です。第1回目は1924年にフランスのパリで開催されました。今年100周年にあたる大会であり、日本では初めての開催となります。ぜひ注目してみてください。

競技用語をはじめ、スポーツ大会の運営に携わる人に役立つ言葉など、スポーツに関する手話を幅広くご紹介！

『使える！スポーツ手話ハンドブック』

「スポーツ関連用語集」編集委員会／編集

全日本ろうあ連盟【780ツ 所蔵館：中山、空港】



バリアフリーやユニバーサルデザイン、商品、さまざまな施設など、日頃感じる“当たり前”を改めて考えられます。

『新しい心のバリアフリーずかん』

中野 泰志／監修 ほるぷ出版

【J367 所蔵館：中央、南部】

## ブロンズ像に訊いてみた 2月ライブラリー

『望郷』像と80年代をめぐるスモールトーク

講師：原山 聡矢さん

松本市城東の一本入った裏通りにある、玄関土間と八畳間だけの小さな古本屋「books 電線の鳥」店主、アカペラシンガーソングライター。印刷会社、法律事務所勤務を経て2017年同店を開業。

日時：2月15日（土）13：30～15：30

会場：中央図書館3F視聴覚室

定員：50名

申込み：QRコード、または直接中央図書館へ



申込フォーム

中央図書館

～2月の展示～

- 展示① 温まる(心・温泉・食べものなど)
- 展示② 郷土の食べ物(長野を中心として)
- 展示③ 冒険(植村直己没後40年によせて)



X(旧 Twitter)

松本市図書館  
@matsumotolib



Facebook

松本市図書館 ～アルプスの山々に囲まれた～



FMまつもと 2月の出演

2月20日(木)12:30～

チャンネル:79.1MHz

※放送日等変更になる可能性があります。

